

8-1 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動（2006年5月～10月）

Seismic Activity in and around the Kinki, Chugoku and Shikoku Districts (May – October 2006)

気象庁 大阪管区气象台

Osaka District Meteorological Observatory, JMA

今期間、近畿・中国・四国地方とその周辺でM4.0以上の地震は16回、M5.0以上は2回発生した。このうち最大は、2006年8月22日に和歌山県南部で発生したM5.5の地震であった。

2006年5月～2006年10月のM4.0以上の震央分布を第1図に示す。

主な地震活動は以下の通りである。

(1) 瀬戸内海中部の地震活動（第2図）

2006年5月8日12時45分に瀬戸内海中部の深さ13 kmでM4.2（最大震度2）の地震が発生した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

今回の地震の震源付近では、1999年から2001年頃にかけてまとまった地震活動があった。このうち最大の地震は1999年10月30日のM4.6（最大震度4）であり、今回とほぼ同様の発震機構であった。

(2) 足摺岬沖の地震活動（第3図）

2006年6月12日15時10分に足摺岬沖の深さ41 kmでM4.0の地震が発生した。今回の地震の震央は南海地震想定震源域の西端付近に位置している。1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では1992年7月10日にM4.0の地震が発生している。

(3) 伊予灘の地震活動（第4図）

2006年9月26日07時03分に伊予灘の深さ70 kmでM5.3（最大震度4）の地震が発生した。この地震の発震機構（P波初動解）は東西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレートの内部で発生した地震である。この地震発生直後数時間で7回の余震を観測し、その後27日07時51分にM3.8（最大震度2）の地震が発生している。

今回の地震の震源付近では、ほぼ定常的に地震活動があり、M4～5程度の地震が時々発生している。最近では2006年5月28日に深さ80 kmでM4.3（最大震度3）の地震が発生している。

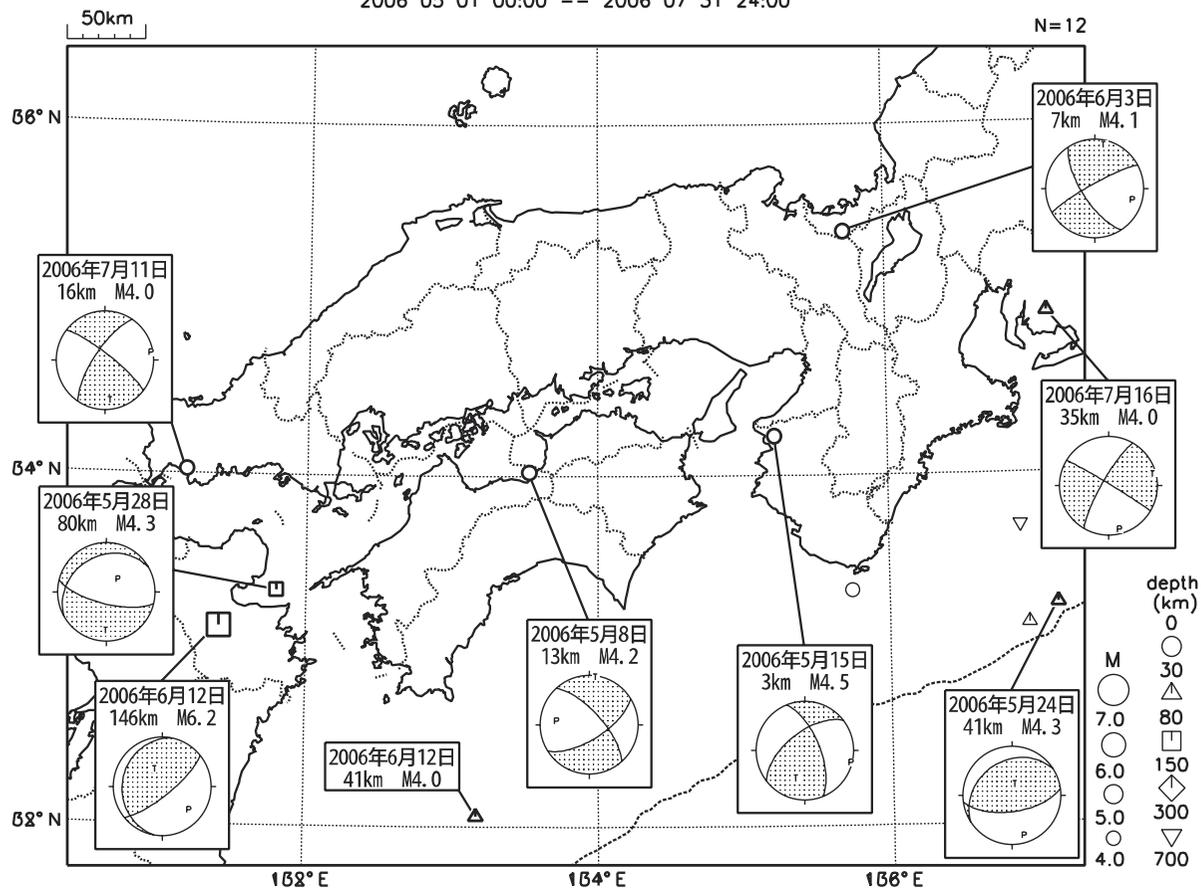
(4) その他の地震活動（第5, 6, 7図）

2006年

月日	震央地名	規模 (M)	深さ (km)	最大震度
5月15日	和歌山県北部	4.5	3	4 (第5図)
5月28日	伊予灘	4.3	80	3 (第6図)
7月11日	山口県西部	4.0	16	3 (第7図)

近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動(2006年5月~7月、 $M \geq 4.0$)

2006 05 01 00:00 -- 2006 07 31 24:00



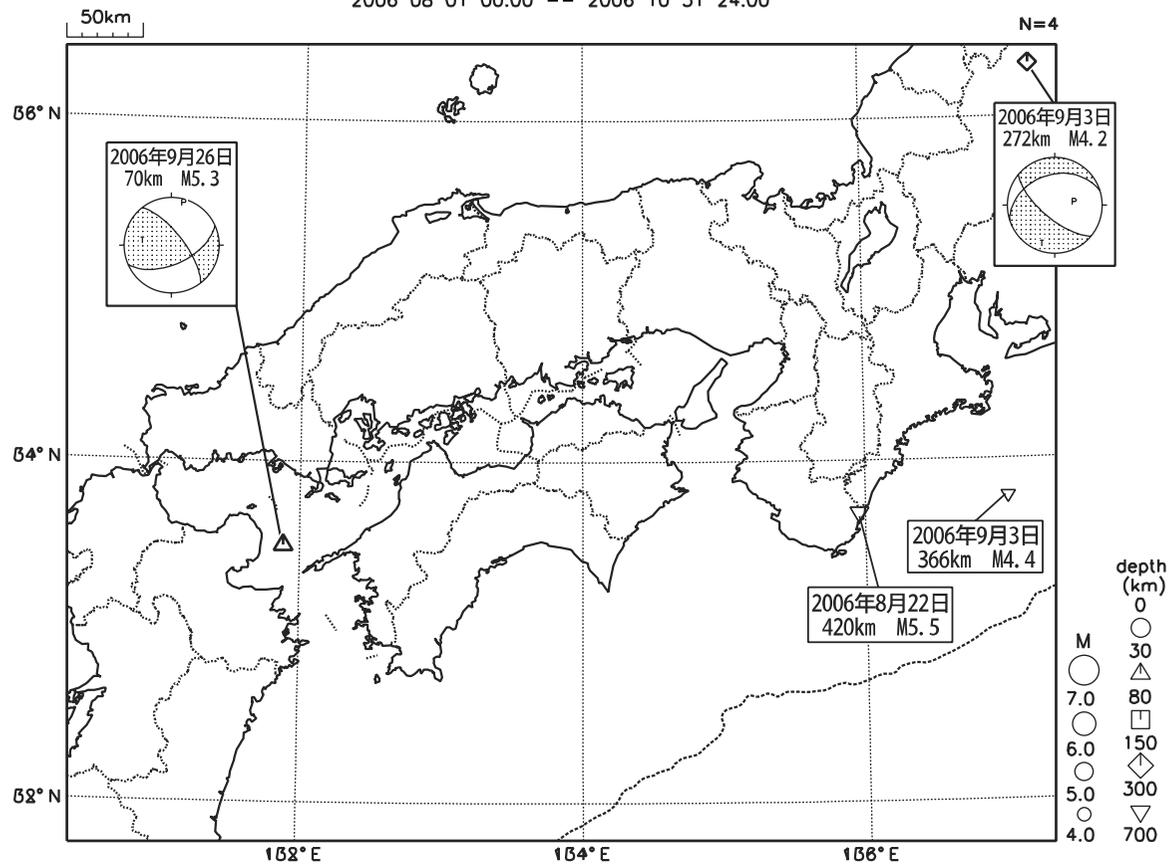
図中の吹き出しは、M4.0以上の主な地震

気象庁作成
(大阪管区気象台)

第1図 (a) 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動 (2006年5月~7月, $M \geq 4.0$, 深さ ≤ 700 km)
Fig.1(a) Seismic Activity in and around the Kinki, Chugoku and Shikoku districts (May - July 2006, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km).

近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動(2006年8月~10月、 $M \geq 4.0$)

2006 08 01 00:00 -- 2006 10 31 24:00



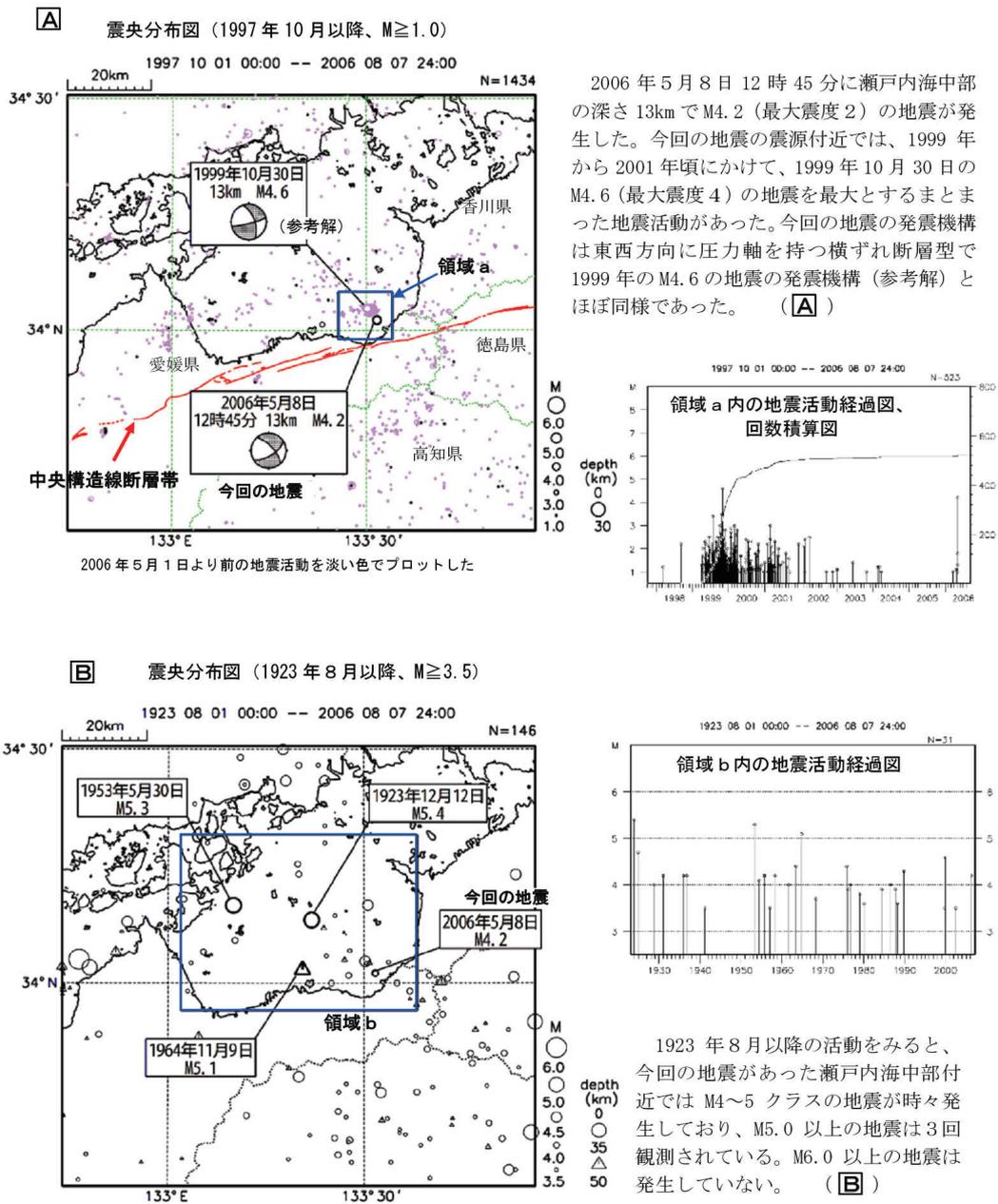
図中の吹き出しは、 $M4.0$ 以上

気象庁作成
(大阪管区気象台)

第1図 (b) つづき (2006年8月~10月, $M \geq 4.0$, 深さ ≤ 700 km)

Fig.1(b) continued (August - October 2006, $M \geq 4.0$, depth ≤ 700 km).

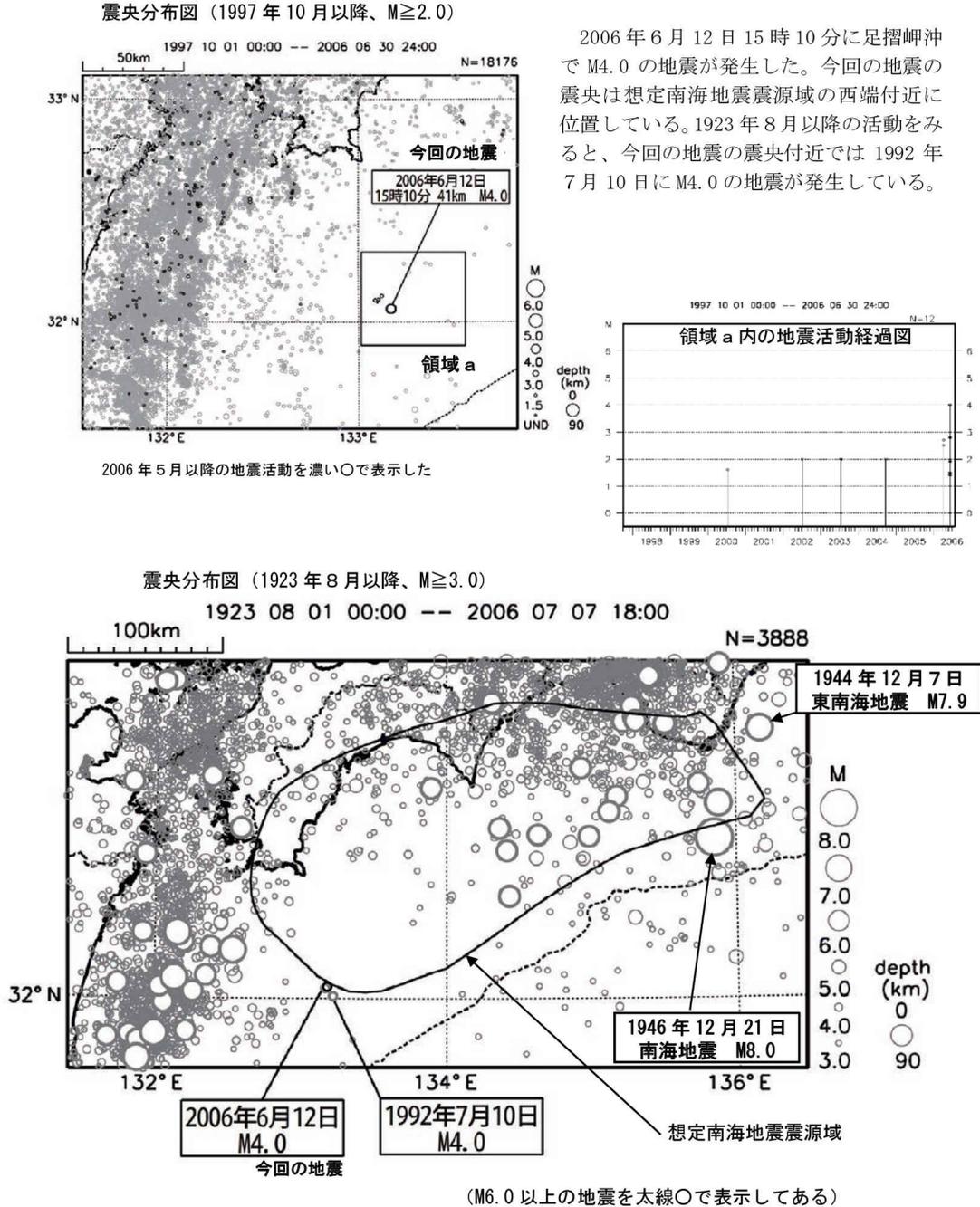
5月8日 瀬戸内海中部の地震



気象庁作成

第2図 瀬戸内海中部の地震活動
Fig.2 Seismic activity in the central Setonaikai.

6月12日 足摺岬沖の地震

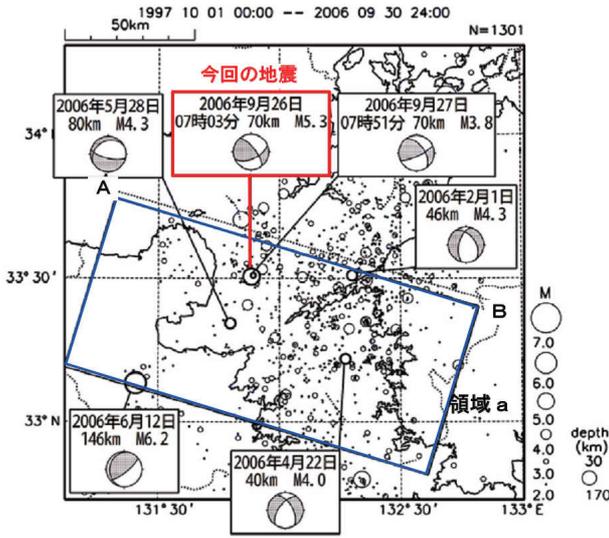


気象庁作成

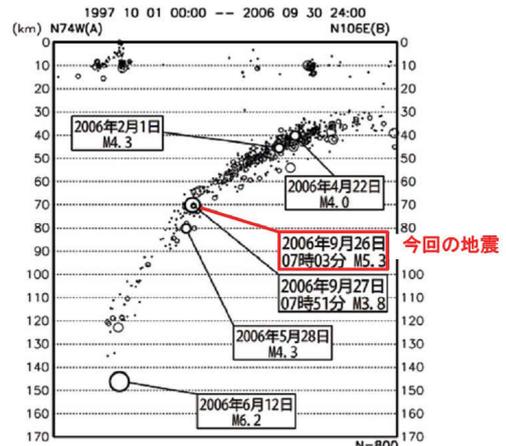
第3図 足摺岬沖の地震活動
Fig.3 Seismic activity off Asizurimisaki.

9月26日 伊予灘の地震

A 震央分布図 (1997年10月以降、 $M \geq 2.0$ 、深さ30~170km)

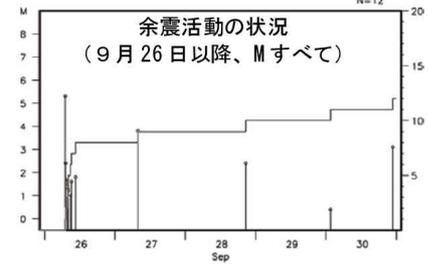
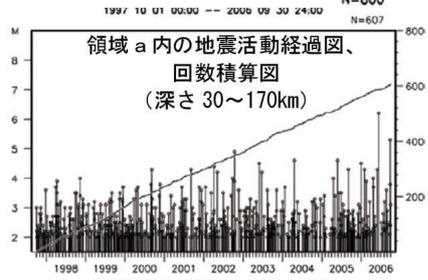


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)

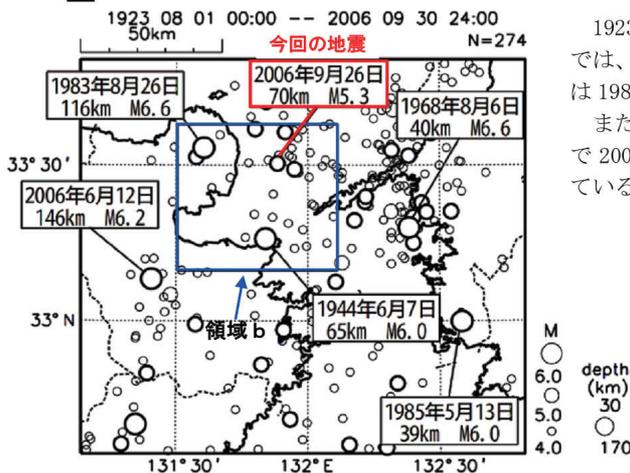


2006年9月26日07時03分に伊予灘の深さ70kmでM5.3(最大震度4)の地震が発生した。フィリピン海プレート内部の地震である。発震機構は東西方向に張力軸を持つ型である。余震は地震発生直後数時間で7回観測された。その後27日07時51分にM3.8の地震(最大震度2)、30日22時48分にM3.1の地震(最大震度1)が発生している。

今回の地震の震源付近では、ほぼ定常的に地震活動があり、M4~5程度の地震が時々発生している。最近では2006年5月28日に深さ80kmでM4.3(最大震度3)の地震が発生している。(A)



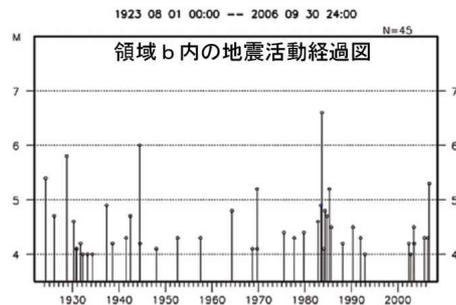
B 震央分布図 (1923年8月以降、 $M \geq 4.0$)



M5.0以上を濃くプロットし、M6.0以上および今回の地震に吹き出しを付けた

1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では、M4.0を超える地震が時々発生している。最大の地震は1983年8月26日に深さ116kmでM6.6の地震である。

また、少し離れてはいるが同じフィリピン海プレート内で2006年6月12日に深さ146kmでM6.2の地震が発生している。(B)

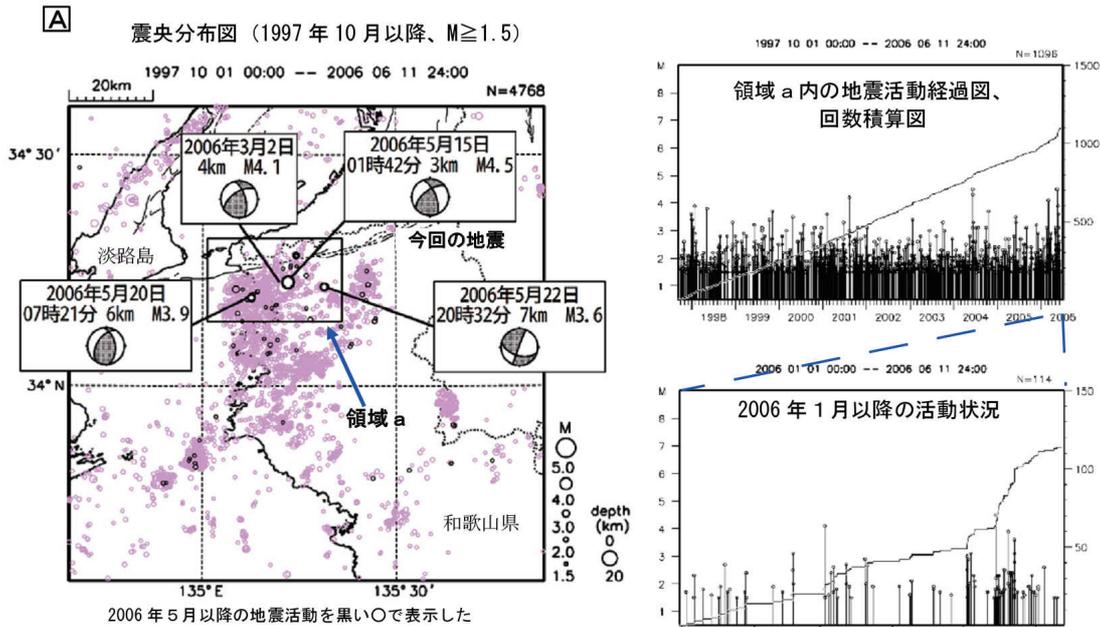


気象庁作成

第4図 伊予灘の地震活動

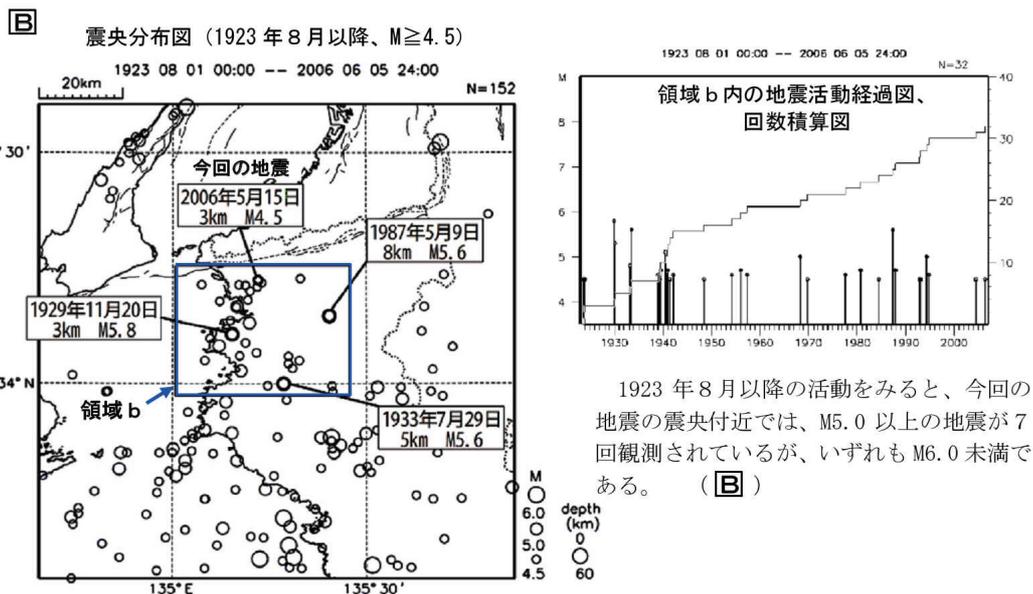
Fig. 4 Seismic activity in the Iyonada Setonaikai.

5月15日 和歌山県北部の地震



2006年5月15日01時42分に和歌山県北部の深さ3kmでM4.5(最大震度4)の地震が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型でこの付近でよく見られるタイプである。

和歌山県北部にはほぼ定常的な地震活動域があるが、今回の地震が発生した北側の領域では5月中やや活発に推移した。震度1以上を観測した地震は5月中に19回発生し、20日07時21分の地震(M3.9、深さ6km)では最大震度3、22日20時32分の地震(M3.6、深さ7km)では最大震度2を観測している。一連の活動は6月に入ってほぼ収まっている。(A)



1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では、M5.0以上の地震が7回観測されているが、いずれもM6.0未満である。(B)

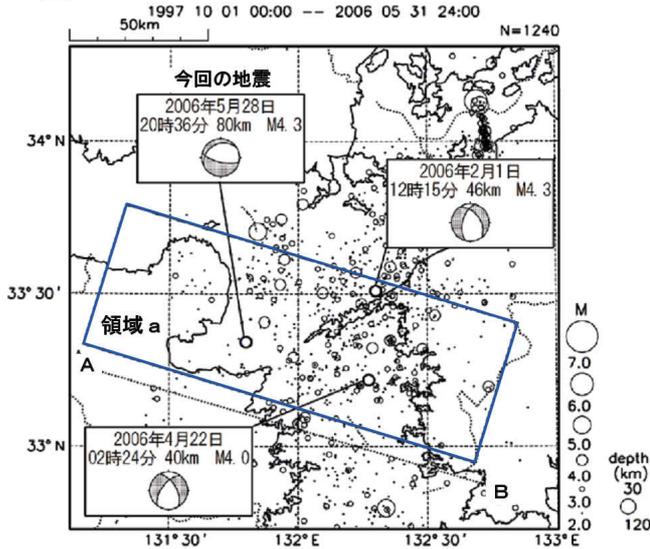
気象庁作成

第5図 和歌山県北部の地震活動

Fig.5 Seismic activity in the northern part of Wakayama prefecture.

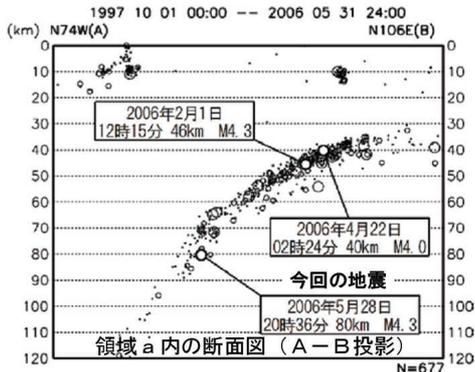
5月28日 伊予灘の地震

A 震央分布図 (1997年10月以降、 $M \geq 2.0$ 、深さ30~120km)

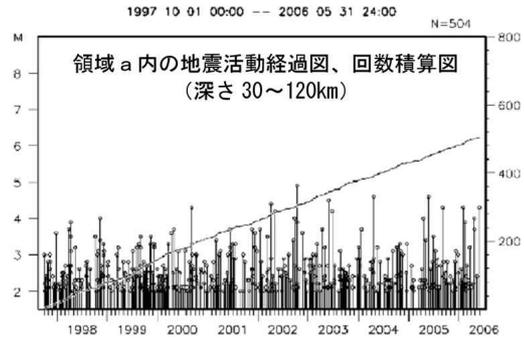


2006年5月28日20時36分に伊予灘の深さ80kmでM4.3(最大震度3)の地震が発生した。発震機構は南北方向に張力軸を持つ型である。余震は観測されていない。

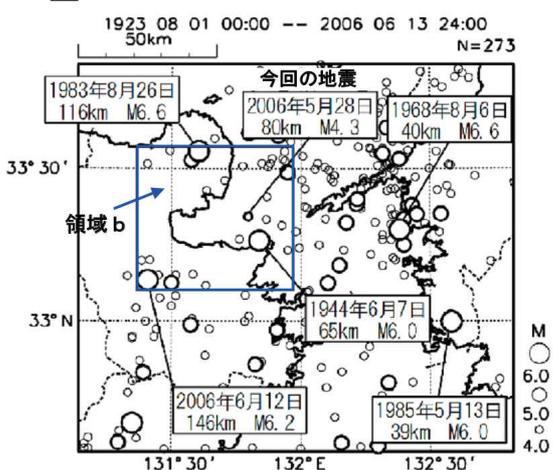
今回の地震の震源付近では、ほぼ定常的に地震活動があり、M4~5程度の地震が時々発生している。最近では2006年2月1日に深さ46kmでM4.3(最大震度3)、2006年4月22日に深さ40kmでM4.0(最大震度3)の地震が発生している。いずれも沈み込むフィリピン海プレートの内部で発生した地震である。(A)



2006年1月以降のM4.0以上の地震に吹き出しを付けた

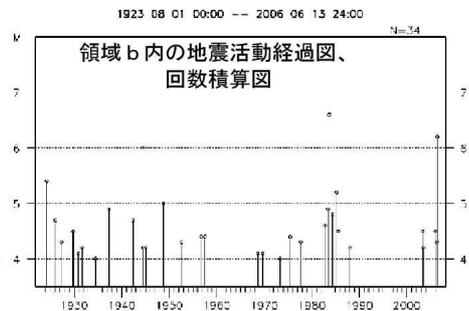


B 震央分布図 (1923年8月以降、 $M \geq 4.0$)



M5.0以上を濃くプロットし、M6.0以上および今回の地震に吹き出しを付けた

1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では、M4.0を超える地震が時々発生している。M6クラスの地震は1983年8月26日に深さ116kmでM6.6の地震以降、発生していなかったが、2006年6月12日に深さ146kmでM6.2の地震が発生した。(B)

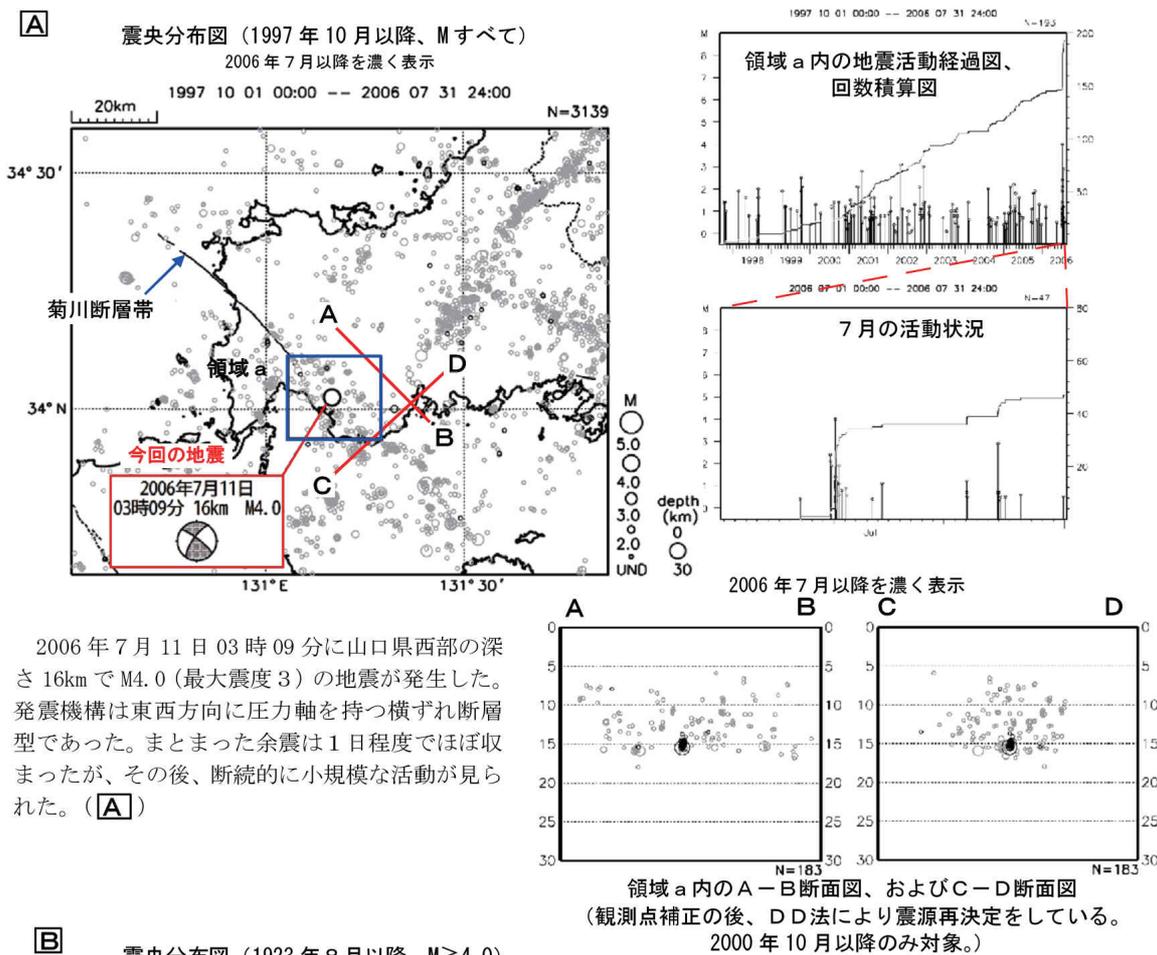


気象庁作成

第6図 伊予灘の地震活動

Fig.6 Seismic activity in the Iyonada Setonaikai.

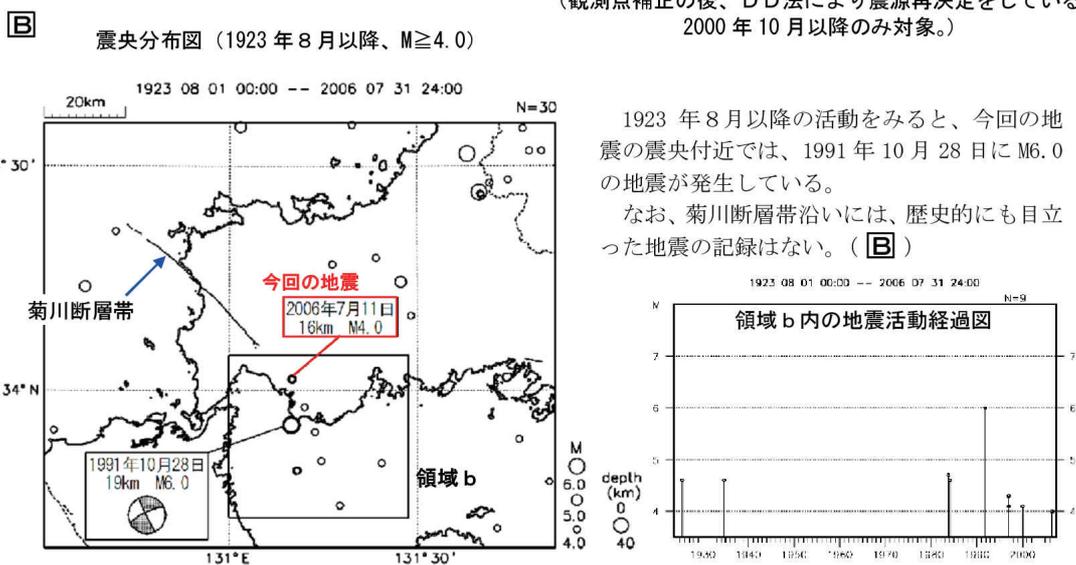
7月11日 山口県西部の地震



2006年7月11日03時09分に山口県西部の深さ16kmでM4.0(最大震度3)の地震が発生した。発震機構は東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。まとまった余震は1日程度でほぼ収まったが、その後、断続的に小規模な活動が見られた。(A)

1923年8月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では、1991年10月28日にM6.0の地震が発生している。

なお、菊川断層帯沿いには、歴史的にも目立った地震の記録はない。(B)



気象庁作成

第7図 山口県西部の地震活動

Fig.7 Seismic activity in the western part of Yamaguchi prefecture.